



## FOA・EAST NEWS No.4

1989. 9. 26.

### ライス・ボウルについて (総括)

服部 慎吾

この様な状況で八方ふさがりの型になり1年待とうかと言う気持ちになりかけたのであるが溺れる者は藁にもすがると言うことがあるが、出来なくてもともと出来れば幸いと当時発刊間もない日刊スポーツに依頼して見ることにした。同社には有馬直と云う記者が居てフットボールを担当し、非常に熱心に練習場や試合場に來て取材していたので吾々とも心安くなっていた。

当時OB達がフットボールの発展の為にA・F・C(アメリカンフットボールクラブ)と云う会を造り、年に2回位資金集めの為銀座の交詢社でダンスパーティーを開催していた。そのパーティーには当時としては珍しいウィスキーや食べ物をOBの2世連中が駐留軍のOXから集めて来るので大変な盛況であった。そのパーティーが10月の末に開催されたのでその会に有馬記者を招待して私と山片理事とで別室でライスボウルの後援を依頼した。有馬氏も大変興味をもって社長に相談すると云ってくれた。2・3日後に有馬氏から社長も承知してくれたと云う返事をもらった。たゞし日刊スポーツ社は発刊間もない小新聞社であるので金銭的にも苦しいので大会にかゝった総経費から入場料その他の収入の差額を持つと云う条件がついていたそしてその差額は翌年のライスボウルの決算にも加えると云うのであるが吾々としてはとにかく試合が出来ればと云うので我慢することにした。

それからは日刊スポーツ社との交渉が大変であった。主に経理関係が困難なので金の件については日刊側からは吉沢氏、連盟側からは福神理事(早大OB)に専任してもらった。それで1月元日は無理なので1月17日と決定して場所はナイルキニック(神宮外苑競技場)とした。又出場者は東西の学生選抜と云うことで関西連盟にも連絡した。一方関東のリーグ戦は12月25日に早大が慶応に1点差で勝ったので4勝1分けの明大が優勝し甲子園ボウルの出場権を得た。

それで12月25日の夜銀座のPIPと云う2世の商事会社の会議室に各チームの監督、連盟からは理事長他数名それに試合に良く来て記事を書いてくれた数社の新聞記者等に集まってもらってオールスターズの1軍、2軍を選抜する会を開催した。新聞記者に集まってもらった理由は将来オールスターズは新聞社で選

考してもらおう積りの為でその準備に当分の間は監督、連盟、新聞社との3者で選ぶ方法をとったのである。色々と議論がされたが、オールスターズの1軍と2軍の選抜が終りライスボウルの監督に関東連盟理事の井上素行氏(早大OB)を推すことに決定し直ちに各新聞社に発表した。私と山片理事はライスボウル打合せと日本協会再発足の相談の為1月1日に行はれる甲子園ボウル出場の明大チームと共に12月30日の夜混雑を極めた夜行列車で大阪に向った。大阪で関西との打合せも終って元日の夜行で帰京した。

ライスボウルの準備も順調に進行し17日を待つ許りであった。当日は駐留軍のCIEに米軍陸軍中佐となっていたポール・ラッシュ氏を主賓として招待し始球式をしてもらうことにも快諾を得た。尚入場料は15円で小学生は無料と云うことにした。後は当日の天候と入場者の多いことを祈るだけであった。

当日は幸い好天気であった。あとは入りを待つだけだ。私は早く競技場に行き競技場の管理者の岡崎氏と共にグラウンド状態等を調査した。1時頃から入場者は多くなり試合開始頃には入場者は4000人位になった。この位入れば初回としては上出来ではなかろうか、ラッシュ氏の祝辞、始球式も終り試合開始となった。関東軍の一方的な勝利に終ったが観衆は一応満足したようであった。

終戦後第1回とあって何も無い時代であった。道具は無い金は無選手のユニフォームも不揃いで現在のように行かなかったが私達には第1回の試合が出来たと云うことだけで満足であった。結局当日の収支決算は約4000円の赤字でこれは翌年のライスボウルで決済されることになった。

なおこの試合をライスボウルと名付けたのは戦前の東西選抜対抗戦を報じたアメリカの新聞の小さな記事に日本でも正月にボウルゲームが行はれているが、日本で行はれるのは米の国であるからライスボウルと云うのかも知れないと云うのがあったことを思い出し、当時駐留軍の決勝戦もライスボウルと云う名称がついていたがそれは米軍が居なくなれば無くなるからと云うことで米軍に関係なく戦前のアメリカの新聞記事からいただいたものである。(完)

(注: 服部慎吾氏は、戦後1948年~52年の日本協会理事長として活躍され、1954年、現審判協会の前身である審判部を設立された。  
川崎市麻生区片平1-19-21 在住)

## 長野・飯綱でのクリニック

ｲﾝｽﾄﾗｸﾀ委員 木村 洋  
佐藤 浩行

それは、インストラクタ委員会から始まった。つい  
つい甘い言葉に乗ってしまったがために、私は飯綱ま  
で行くことになってしまったのです。

教育担当理事のC氏は「佐藤君、暑い夏を、涼しい  
飯綱で過ごしてみないかね。きっとかわいい女の子も  
いるだろうし・・・」などと言葉巧みに私を誘うので  
した。その「涼しい」というところが魅力ではありま  
したが、基本的に「かわいい女の子」という言葉をす  
ぐ真に受けてしまう私の浅はかさ。ちょっと考えてみ  
れば、そんなにかわいい子がいるわけではないのに。と  
にかく、そんないきさつで、私は飯綱に行くことにな  
ったのです。

当日27日は、朝からあいにくの雨模様。台風の接  
近に伴って時に雨足の強まる中、20名ほどの受講者  
が集まりました。オフィシエイティング・マニュアル  
を用いてプリ・ゲーム・ミーティングからセレモニー、  
基本姿勢、ランニング・プレー、パス・プレー時のポ  
ジショニング、プレーを見る角度、ボックス・インの  
動き等を確認しました。また、今年度のルール改正に  
ついては、やはり、受講者の皆さんはプレーヤーであ  
るということからか、攻撃側のプレーヤーのフレーム  
がなくなったことに話題が集まりました。昼食をはさ  
んでは、シグナルを一通りおさらいをし、その後自由  
に質問をしてもらいました。当初の予定では、午後は  
グラウンドで基本的な動作のおさらいをするつもりだ  
ったのですが、今回は、専らお話しの会になってしまっ  
たのが残念です。

それにしても、雨降りの土日にもかかわらず、結構  
人は動いているのですね。帰りの列車の混雑も、往き  
同様たいしたことはあるまいと思っていた我々の思惑  
は大いに外れ、結局上野まで立ち通し。木村さん、あ  
と30分待つて次の列車に乗ればよかったですねえ。

(文責 佐藤浩)

### ◆関東審判部1989年度総会報告◆

1989年度の関東審判部は春季クリニックを兼ね、  
4月2日東京・芝の機械振興会館で行われた。

以下は、当日の総会の議事録抜粋である。

## 1989年度・関東審判部総会議事録

日 : 1989年4月2日(日)  
時 : 11時40分~12時40分  
場 所 : 機械振興会館・地下3階・第1研修室  
出 席 : 在籍 121人 (除く新人7名)  
出席 62人 ( 同 )  
委任 41人 よって総会は成立

総会議長として中尾公一氏を選出し、以下の議事・  
決定を行った。

### (1) 1988年度活動報告

事前配布された総会資料を基に1988年度の関  
東審判部活動報告があり、報告通り承認された。

### (2) 1988年度会計報告

事前配布された総会資料を基に1988年度関東  
審判部会計報告があり、報告の通り承認された。

### (3) 1988年度監査報告

監事より1988年度の活動監査および会計監査  
の報告があった。

### (4) 1989~1990年度関東審判部役員候補推薦委報告

同委員会の活動報告および選挙結果報告があり、  
新役員の選出が発表された。

### (5) 1989~1990年度関東審判部役員の紹介

新役員の紹介が関東審判部部長よりあった。

### (6) 1989年度活動計画

事前配布されていた総会資料を基に1989年度  
関東審判部の活動計画案が提案され、案の通り承  
認された。

### (7) 1989年度予算

事前配布されていた総会資料を基に1989年度  
関東審判部の予算案が提案され、案の通り承認さ  
れた。

### (8) 今回選出された小笠原理事の大阪転出に伴い、 後任に中村氏(日大出)が就任することが承認さ れた。

-以上-

## インストラクタ 委員会レポート

### ☆ 情報の伝達者

インストラクタといいますが、教官の意味に訳されるので、誤解を招いてしまいますが、実際には、私達自身が審判員としての向上を目指す過程を部員諸氏に伝えながら、共に向上を計ろうとしているのが委員会の性格です。審判員の集まりですから、より高い同質のレベルを共有できるのが望ましい事です。情報伝達の経路として、話し手と聞き手という区分は出てきますが、教える者と教わる者との区分をなくして行くのが理想であります。

### ☆ 奥の深いものですね

審判員の知識と技術は、公式規則に精通し、オフィシエイティング・マニュアルにのっとって実際のゲームに体现されなければ意味はありません。

刻々と変化してゆくフィールドでは見慣れたシーンを展開してくれる時のあれば、まさか！今風ならウッソー！そんなシーンにも突然に出くわしてしまう。

この多様な変化に対応して即断し続けるほぼ2時間に渡る審判員の技量は容易なものではない。30余年を経験したベテランにしてなおルールブックを開かせオフィシエイティング・マニュアルを開かせ、かつ話し合いをして、より理解を深めてゆかれています姿を拝見するにつけ、そう思う。

### ☆ すり込み

私達が審判部に入った時点では、個人によって多少の差異はあるでしょうが、概ね、アメリカンフットボールという競技の進行のルールを知っているという程度のレベルから出発しています。

ですから入部当初は、ルールの体系。オフィシエイティング・マニュアルを、文字通り教わるという受動的な形でスタートします。しかし、これを自らの身体にすり込んで行くとなるとクリニック会場で配布された資料を見開きしているだけでは、シャワーを浴びるまでもなくきれいに流れ去ってしまうものです。

やはり、各人がルールブック、オフィシエイティング・マニュアルの1行・1行をフィールドの場面に想定して読み下してゆく努力、又最高のクリニックでもあるゲームで、気になった事に対して判断をしておく努力、この自動的な努力の積み重ねが重要です。

### ☆ あんたが主役！

この努力を、より効率良く実行してゆく方法を、収集、整理し、伝達するのが委員会の役割とも言えます

あなたの情報も私達に教えて下さい。情報の価値に軽重はありません。あなたが感じた事は、他の誰かも感じる筈です。とんでもない事だって、いつ目の前に出現するのか、解らないのですから。

決して聞き手だけのあなたに終始しないで下さい。

### ☆ レタークリニックについて

現在、定期的に行われているクリニックに何らかの事情で当日出席できない方が、部員数の約1/3程度あります。この人達への対応が今春の理事会でテーマとなり、その策として在宅での方法として誕生したのがレタークリニックです。

その主旨として (1) クリニックへ出席できなかった人にも共通な情報をもってもらう (2) 在宅で自らルールブック、マニュアルをひも解いてもらうの2点にあります。

現在までに、2回のレターを実施しましたが、問題点として次の事があげられます。(1) レターの問題の出し方で正解が複数となり、添削作業が複雑であった (2) 解答の回収率が、クリニックの出欠率同様に2/3程度であり、期間も長期である。

問題点の対応として (1) クリニックへ出席できなかった人のみレターを発送し、その解答返信をクリニック出席ポイントと同じ扱いとする。このポイントはボウルゲーム出場資格等の参考資料となる (2) 各インストラクタ委員は、担当するエリアの部員に対してより細かな添削を心掛けて、対話としてのレターに発展させる (3) 当面9月のクリニックはケーススタディを表題としているので、そこで提出された問題をレターとして発送する。

レターについての皆さんの御意見をお聞かせ下さい。

(千田 義彦)

※インストラクタ委員各氏からのメッセージは、紙面の都合上次回以降に掲載いたします。

### ☆☆坂井理事、業務多忙のため、理事辞任。

#### 後任に藪内氏が就任☆☆

1989-90年度の指導教育担当として選出された坂井淳理事が、このほど業務多忙のため理事を辞任されました。後任として推薦委員会で順位次点の藪内氏に就任を要請、本人から快諾を得ましたので坂井氏の担当業務を引き継いでいただきます。藪内直樹新理事に就任にあたっての抱負を執筆していただきました。

「この度、坂井理事の後任として指導・育成担当に千田理事と共にあたることになりました。見よう見真似で何となく現在に至った私が、人様の指導など汗顔の至りでありますが、140名を越す組織が、シーズン300試合以上を公正に運営して行かなければならなくなっている今日、高度な審判技術のさらなる普及が急務であることは確かです。私自身、研鑽を積み重ねればと自戒しているところで、皆様の叱声を力として行きたいと思っております。どうぞよろしく」

## ◆理事会報告◆

(文責) 編集部

FOA・EAST・NEWS No.3に 続き、  
第30回以降の関東審判部理事会の内容の概要を報告  
します。議事録は公開資料ですので、詳細を知りたい  
方は各理事、または監事諸氏が所持している議事録を  
参照下さい。

### ◆第30回理事会(1989年3月10日)

- ・関東審判部・役員選挙結果報告
- ・理事担当の決定

|         |     |    |
|---------|-----|----|
| 部長      | 水田  | 吉春 |
| 総務・総務担当 | 喜入  | 博  |
| 総務・渉外担当 | 小笠原 | 秀宜 |
| 総務・組織担当 | 栢下  | 良平 |
| 指導育成担当  | 坂井  | 淳  |
| 同       | 千田  | 義彦 |
| 会計      | 茂出水 | 茂春 |
| 運営      | 岡本  | 茂和 |

- ・他の委員の選出ーインストラクタ委員、用具保管、  
NEWS編集の各担当
- ・オフィシエイティング・マニュアル作成状況
- ・春季クリニック兼総会の内容決定
- ・D・NELSON氏の訪日について

### ◆第31回理事会(1989年3月21日)

- ・関東審判部・新ブロック編成案についての説明
- ・1988年度決算報告
- ・1988年度活動報告
- ・1989年度活動内容の検討
- ・1989年度予算案の作成
- ・総会の用意、式次第の検討

### ◆第32回理事会(1989年4月3日)

- ・89～90年度、総務担当として選出された小笠原  
理事が転勤に伴い理事辞任を申し入れ、承認された。  
後任として役員候補推薦委員会の選出で次点であっ  
た中村浩視氏に就任要請し、本人の承諾を得た。同  
氏には小笠原理事の担当(総務・渉外)を引き継い  
でもらうこととなった。

### ◆第33回理事会(1989年4月14日)

- ・インストラクタ委員会への要望
- ・箱根合宿について

- ・日本審判協会の理事選出
- ・関東審判部・部内委員会の構成員の選出  
資格制度検討委員会および規約委員会
- ・春季ゲームのトラブル報告
- ・新人クリニックの日程の決定

### ◆第34回理事会(1989年5月10日)

- ・ネルソン氏訪日について
- ・春季ゲームのトラブル報告
- ・インストラクタ委員会からの報告
- ・新人リクルートについて

### ◆第35回理事会(1989年6月6日)

- ・新人クリニックの式次第確認
- ・箱根合宿の式次第確認
- ・8月以降のクリニック日程の決定
- ・急病の為、入院したネルソン氏の帰国報告
- ・春のゲームリポート

### ◆第36回理事会(1989年7月8日)

- ・新入加入状況について
- ・箱根合宿手順確認
- ・秋季スケジュールについて
- ・オペレーション・マニュアルの作成について
- ・傷害保険の更新について
- ・坂井理事(指導育成担当)より業務多忙の為、辞任  
の申し入れ。後任に推薦順位次点の藪内氏(第1ブ  
ロック・リーダー)の就任を要請。

### ◆第37回理事会(1989年8月4日)

- ・米国CCAよりケース・スタディ用のVTR2種類  
を取り寄せた。また、用具についての取り寄せ状況  
も報告があった。
- ・監督、コーチクリニックでのルール改正等説明会の  
報告
- ・秋季スケジュールについて
- ・オフィシャル・レコードの評価欄について
- ・夏季クリニックの式次第決定
- ・今後のボウルゲーム日程報告

## FOA・EAST・NEWS No.4

日本アメリカンフットボール審判協会

関東審判部・機関紙

発行: 1989年9月26日

発行責任者: ニュース編集部 Tel.045-715-7130